

空知信用金庫・第151回地域企業景気動向調査

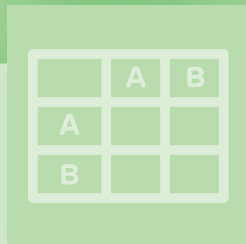
景況レポート

2024.4

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和6年1月～3月の景気の現状と令和6年4月～6月の見通しを調査したものです。

令和6年4月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話 (0126) 22-1171



第151回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和6年1月～令和6年3月期（実績） 令和6年4月～令和6年6月期（予想）
令和6年3月1日～3月7日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものだ。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

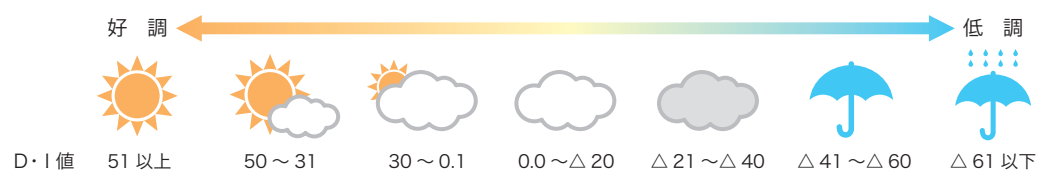
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区 分	調 査 対 象 企 業	有 効 回 答 数	有効回答率 (%)
製 造 業	24	23	96
卸 売 業	14	13	93
小 売 業	57	54	95
サ ー ビ ス 業	32	29	91
建 設 業	43	42	98
不 動 産 業	7	7	100
運 輸 業	17	17	100
農 業	28	26	93
計	222	211	95

6. 天気図の見方

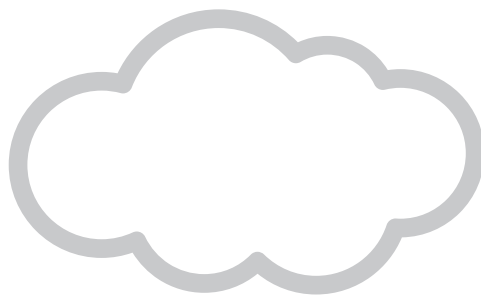
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「中小企業における人材戦略について」

総合



概況

物価高と人材不足等を反映し、業況は悪化

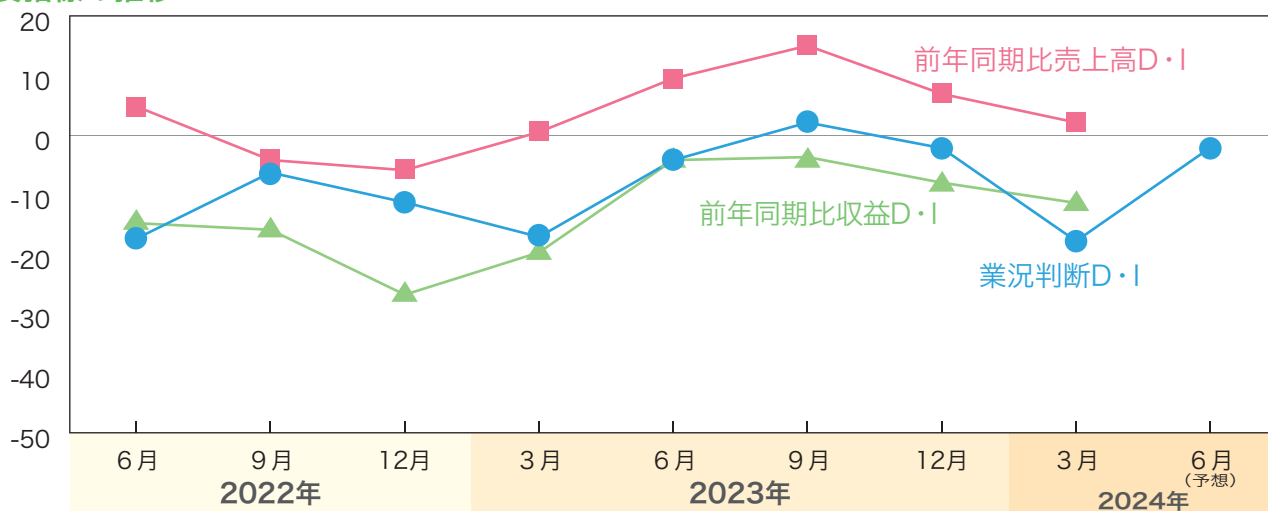
今期の業況判断指数（D・I値）は、△17.8と前期（10月～12月）より15.6ポイント下降し、業種別に見ますと農業で改善、不動産業で横這いと、この2業種以外の6業種で悪化となりました。売上高D・I値は2.1と前期比4.8ポイント悪化となり、卸売業、サービス業、建設業及び農業で改善、不動産業が横這い、それ以外の業種は下降となっています。収益D・I値は△11.4と前期比3.4ポイント下降し、卸売業、建設業、農業以外の業種は横這いまたは下降しています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△17.1	△2.2	△17.8	△2.1
売上高D・I	0.5	6.9	2.1	—
収益D・I	△19.7	△8.0	△11.4	—

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数（D・I値）は△2.1と今期比15.7ポイントの改善が見込まれます。業種別では、運輸業で横這いの見通しとする以外、7業種が改善を見込んでいます。また、主要指標につきましても、前年同期比で悪化傾向にあり、依然として、物価や人件費の高騰、人材不足等で先行き不安感を反映したものと思われます。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	17.4	26.1	13.0	21.7
卸 売	50.0	64.3	53.8	7.7
小 売	31.4	31.4	25.9	18.5
サービス	10.0	26.7	20.7	17.2
建 設	30.2	39.5	21.4	21.4
不 動 産	0.0	14.3	—	—
運 輸	23.5	52.9	29.4	23.5
農 業	7.4	42.3	19.3	30.8

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	43.5	69.6	43.5	43.5
卸 売	57.1	64.3	53.8	30.8
小 売	53.7	48.2	33.3	31.5
サービス	50.0	56.7	41.4	37.9
建 設	58.1	58.2	38.1	35.7
不 動 産	28.6	14.3	—	—
運 輸	52.9	58.8	47.1	29.4
農 業	66.7	61.5	42.3	42.3

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△17.4	△39.1	△52.2	△43.5
卸 売	△35.7	△28.6	△38.5	△23.1
小 売	△14.8	△16.6	△20.4	△20.3
サービス	△40.0	△36.7	△27.6	△31.0
建 設	△34.9	△46.5	△21.4	△40.5
不 動 産	△14.3	△14.3	－	－
運 輸	△58.8	△58.8	△47.1	△52.9
農 業	－	－	－	－

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△4.4	0.0	13.0	0.0
卸 売	－	△7.1	△15.4	7.7
小 売	△3.7	0.0	△1.8	0.0
サービス	6.7	3.3	3.5	△6.9
建 設	△9.3	△7.0	△7.2	4.8
不 動 産	－	－	－	－
運 輸	△11.8	5.9	△5.9	△17.6
農 業	－	－	－	－

○借入金の動き・難易度

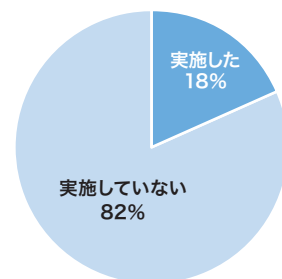
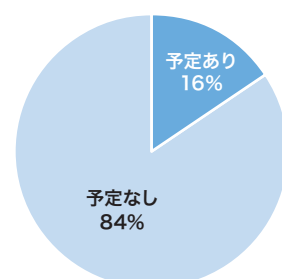
(%)

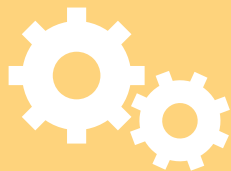
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難しい	該当なし
製 造	17.4	4.3	17.4	73.9	8.7	－
卸 売	38.5	30.8	15.4	84.6	－	－
小 売	18.5	13.0	5.6	61.1	16.7	16.6
サービス	24.1	20.7	3.4	82.8	3.4	10.4
建 設	28.6	9.5	21.4	64.3	9.5	4.8
不 動 産	28.6	－	－	85.7	－	14.3
運 輸	17.6	23.5	17.6	47.1	17.6	17.7

○設備投資の動き

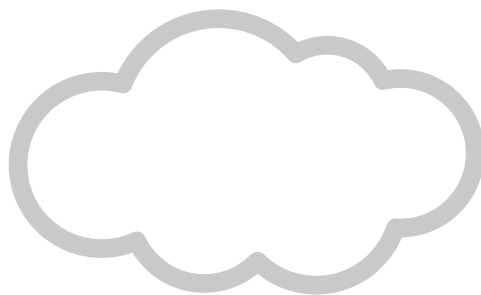
(%)

	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	4.3	13.0	17.4	8.7
卸 売	21.4	14.3	30.8	30.8
小 売	7.4	18.5	13.0	7.4
サービス	10.0	16.7	13.8	17.2
建 設	16.3	25.6	26.2	26.2
不 動 産	－	－	－	－
運 輸	17.6	11.8	17.6	11.8
農 業	－	7.7	－	7.7

2024年1月～3月期
設 備 投 資今後3ヶ月以内
設 備 投 資 計 画



製造業



概況

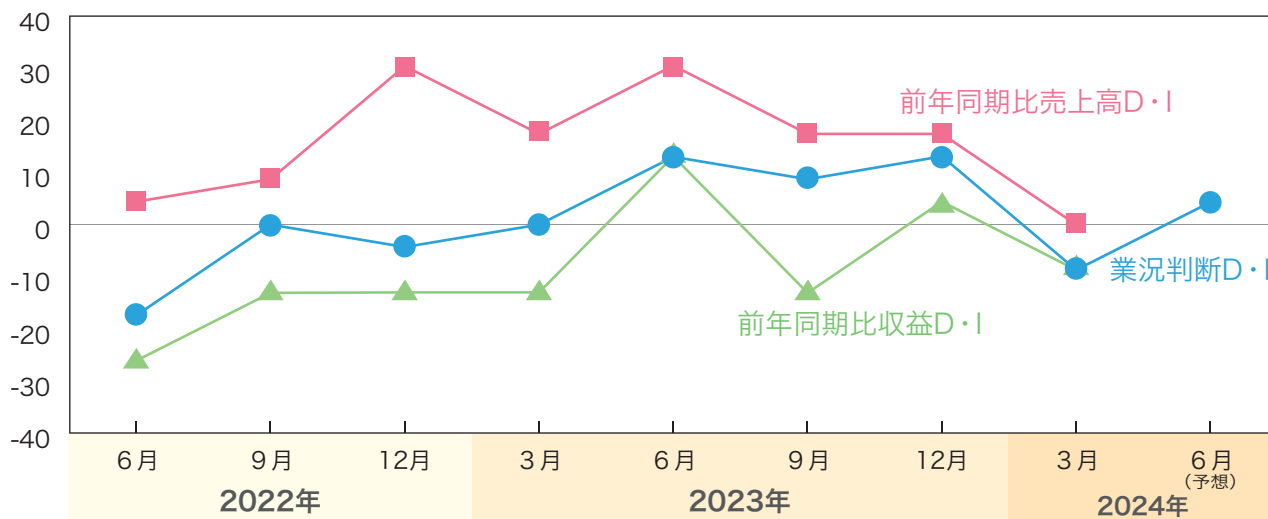
今期の業況判断指数（D・I値）は、△8.7と前期（10月～12月）に比べ21.8ポイント下降し、1年振りにマイナス圏となりました。木材・木製品製造業の業況悪化が全体の押下げ要因となりました。また、売上高D・I値は今期0.0ポイント、収益D・I値は同△8.7ポイントといずれも前期と比べて悪化しました。製造業においては原材料費の高騰が収益を圧迫している状況が続いているようです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	0.0	13.1	△8.7	4.3
売上高D・I	17.4	17.4	0.0	—
収益D・I	△13.0	4.4	△8.7	—

来期の見通しについて

食料品とその他製造業で改善する見込みで、木材・木製品製造業で下降し、その他の業種では現状維持を見込み、製造業全体では今期実績から改善する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・収益面、経営課題は多く、特に昨年から苦戦している価格転嫁と消費者購買意欲の低下を受け、売上・収益の確保が厳しい。
- ・高齢化している役員の退任を検討中。そのため役員兼務工場長の実務を若手に引継ぎ中である。
- ・売上確保、人材不足及び2024年問題等、様々な課題があり、今後の経営は厳しくなる見込み。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	原材料高 65.2%	原材料高 52.2%
第2位	売上の停滞・減少 30.4%	人手不足 43.5%
第3位	人手不足 工場・機械の狭小・老朽化 26.1%	売上の停滞・減少 30.4%

（複数回答）

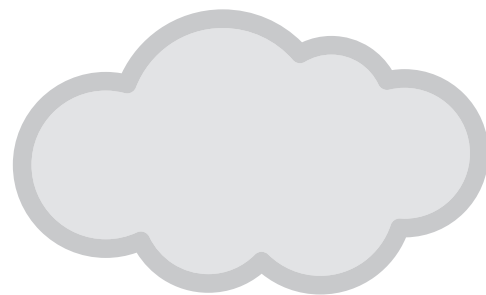
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 47.8%	販路を広げる 43.5%
第2位	経費を節減する 人材を確保する 39.1%	経費を節減する 人材を確保する 34.8%
第3位	情報力を強化する 21.7%	機械化を推進する 26.1%

（複数回答）



卸売業



概況

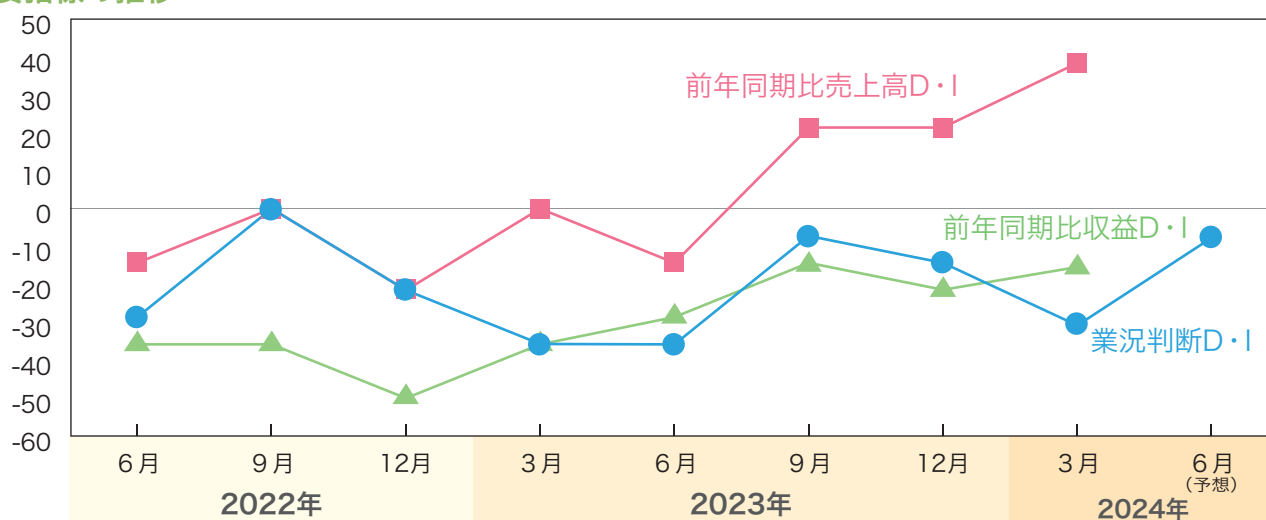
今期の業況判断指数（D・I値）は、△30.8と前期に比べ16.5ポイント下降し、冴えない業況となりました。卸売業においては業況が改善した業種は無く、農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業及びその他の卸売業で下降し、他は横這いで、全体で悪化となりました。売上D・I値は前期比で17ポイント上昇しましたが、収益D・I値は6.0ポイントの上昇にとどまり、燃料・原材料価格上昇の中で、採算性向上への取組みがさらに重要となっています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△35.7	△14.3	△30.8	△7.7
売上高D・I	0.0	21.4	38.4	—
収益D・I	△35.8	△21.4	△15.4	—

来期の見通しについて

農畜産物・水産物卸売業及びその他卸売業で来期は業況悪化の予想ですが、食料・飲料卸売業では良化する見通しで、業界全体では今期よりも業況は明るい見通しとなっています。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・資金繰りに余裕があり、証貸（コロナ融資）を繰上げ弁済した。
- ・従業員を募集しているが応募がなく、外国人の採用を考えている。
- ・春以降の建設業者の状況を気にしている。（建築資材卸売業）

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 売上の停滞・減少 42.9%	同業者間の競争の激化 46.2%
第2位	仕入先からの値上げ要請 取引先の減少 35.7%	取引先の減少 利幅の縮小 38.5%
第3位		売上の停滞・減少 30.8%

（複数回答）

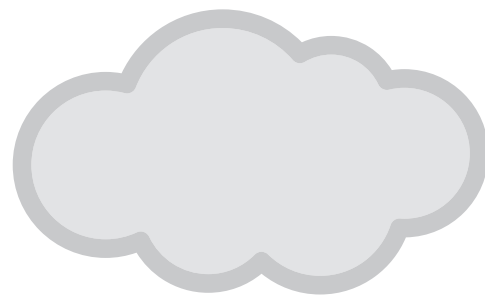
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 71.4%	経費を節減する 76.9%
第2位	人材を確保する 50.0%	販路を広げる 61.5%
第3位	経費を節減する 35.7%	人材を確保する 38.5%

（複数回答）



小売業



概況

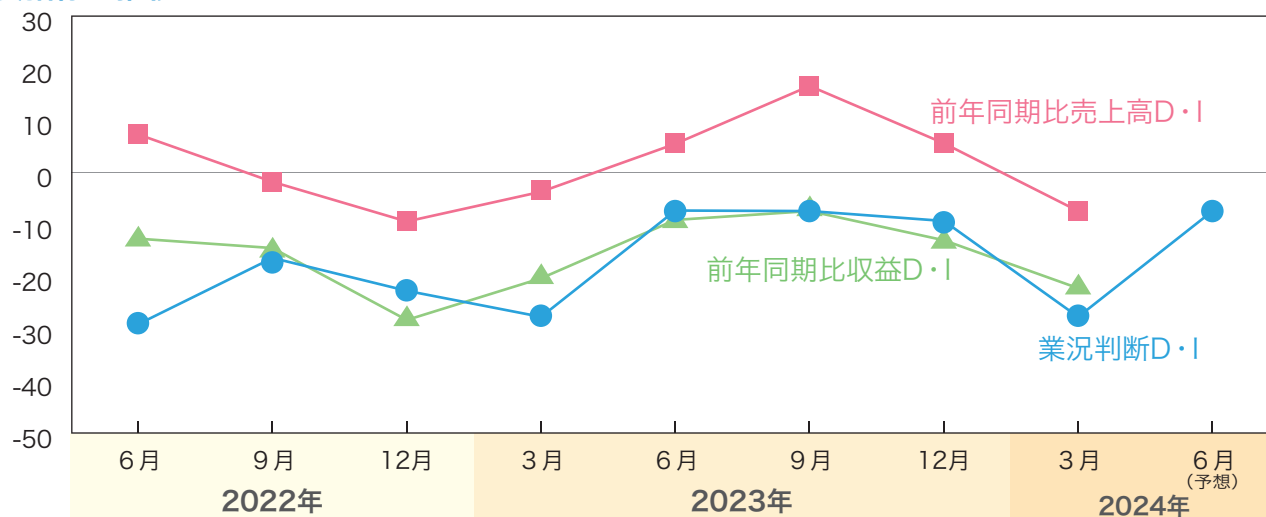
今期の業況判断指数（D・I値）は、△27.7と前期に比べ18.4ポイント下降し、冴えない業況でした。書籍・文房具小売業では改善し、カメラ・時計・メガネ・貴金属小売業及び木材・建築材料小売業で横這いとなり、他の業種では業況が悪化したことから、全体で前年同期と同じD・I値まで下降しました。売上高D・I値も前期比13.0ポイント悪化し、収益D・I値も9.2ポイント悪化していることから、仕入価格高騰分の販売価格への転嫁が一部のみで、コスト負担が重く、赤字基調が続いています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△27.7	△9.3	△27.7	△7.4
売上高D・I	△3.7	5.6	△7.4	—
収益D・I	△20.3	△13.0	△22.2	—

来期の見通しについて

燃料小売業でやや改善の見込みですが、その他の小売業では横這いあるいは下降する見通しで、小売業全体では今期実績よりも改善はするものの、マイナス圏の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・1～2月の気温が高く、冬物商品の売行きは不調。
- ・売上高は順調に増加基調にあるが、収益は減少で、経費削減等増益に向けて企業努力している。
- ・横這いの売上の中、仕入れ値や人件費の高騰への対応に苦慮している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減少 53.7%	商圏人口の減少 38.9%
第2位	売上の停滞・減少 44.4%	人手不足 27.8%
第3位	人手不足 利幅の縮小 20.4%	売上の停滞・減少 24.1%

(複数回答)

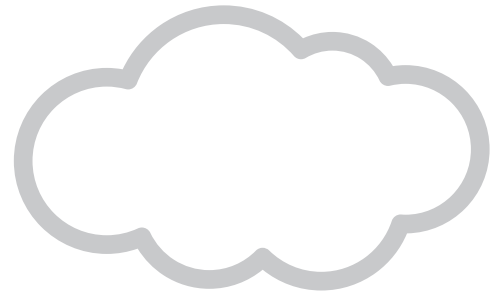
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 57.4%	経費を節減する 50.0%
第2位	人材を確保する 29.6%	人材を確保する 品揃えを改善する 25.9%
第3位	売れ筋商品を取扱う 25.9%	売れ筋商品を取扱う 20.4%

(複数回答)



サービス業



概況

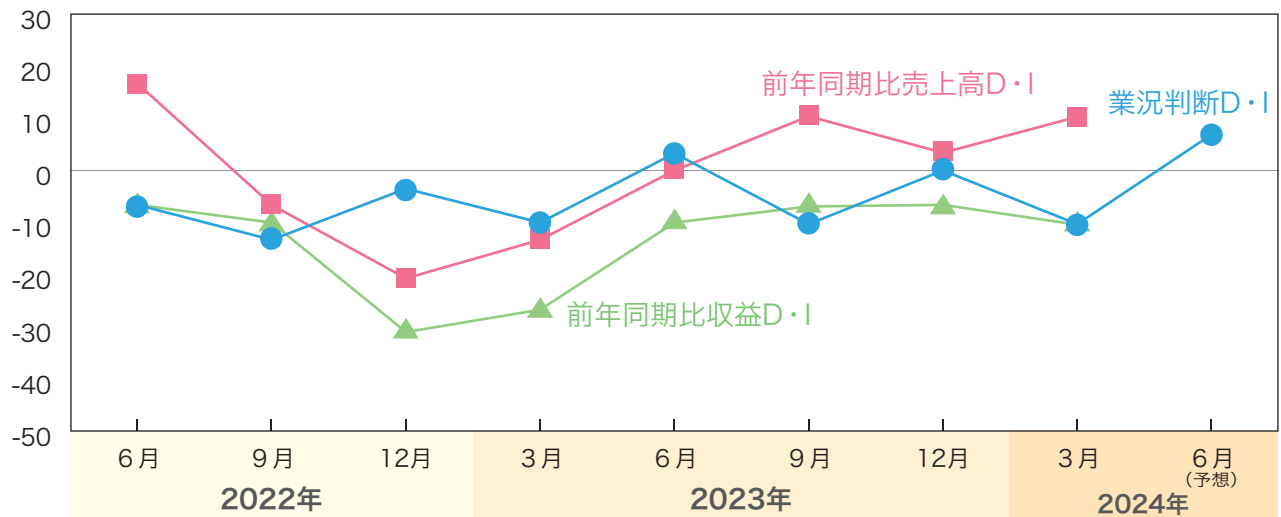
今期の業況判断指数（D・I値）は、△10.3と前期に比べ10.3ポイント下降しました。業種別では物品賃貸業では順調な業況であったものの、その他サービス業及び自動車整備業で悪化し、全体では再びマイナス圏内に低下しました。売上高D・I値は前期比6.9ポイントの改善、収益D・I値は前期比3.8ポイント下降と売上高及び収益性については全体では大きな変化はありませんでした。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△10.0	0.0	△10.3	6.9
売上高D・I	△13.3	3.4	10.3	—
収益D・I	△26.7	△6.6	△10.4	—

来期の見通しについて

自動車整備業、その他サービス業で上昇を見込み、他の業種は現状維持を予想し、全体では再びプラス圏内となる見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・昨年に従業員が増え、人材に関しては安定している。
- ・業績向上も課題であるが、人材の確保が一番の課題である。
- ・整備士の高齢化が進む中、若手の資格取得支援、技術力向上へ取り組んでいる。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 商圏人口の減少 40.0%	材料価格の上昇 人手不足 34.5%
第2位	材料価格の上昇 26.7%	売上の停滞・減少 31.0%
第3位	同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 23.3%	人件費の増加 27.6%

（複数回答）

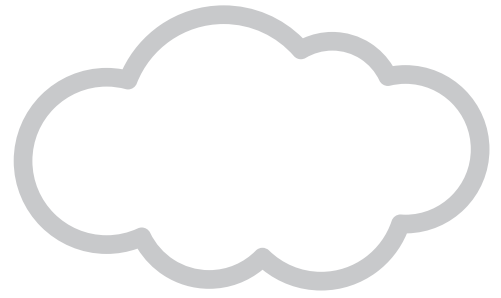
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 販路を広げる 43.3%	経費を節減する 58.6%
第2位	人材を確保する 40.0%	販路を広げる 48.3%
第3位	技術力を強化する 20.0%	人材を確保する 24.1%

（複数回答）



建設業



概況

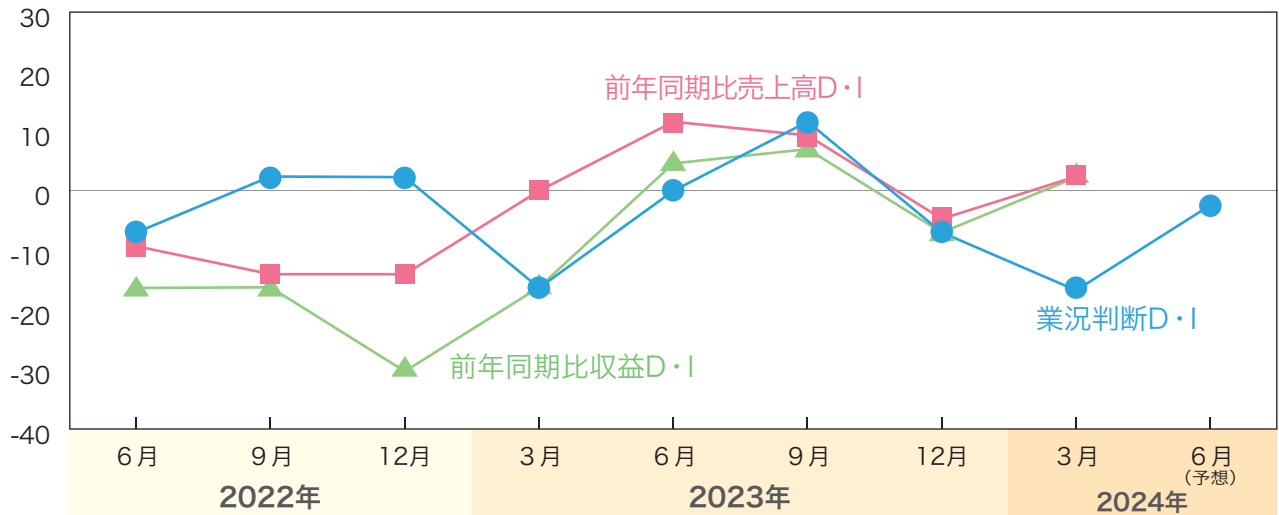
今期の業況判断指数（D・I値）は、△16.7と前期に比べ9.7ポイント下降しました。業種別に見ても総合工事業で△18.5、職別工事業で△14.3、設備工事業で△12.5といずれもマイナスで、2期連続悪化しました。一方で、売上高D・I値は前期比7.1ポイント改善、収益D・I値も9.3ポイント改善と、仕入コストや人件費を売上に転嫁しつつある状況と推察します。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△16.3	△7.0	△16.7	△2.4
売上高D・I	0.0	△4.7	2.4	—
収益D・I	△16.2	△7.0	2.3	—

来期の見通しについて

総合工事業及び設備工事業で下降を予想し、職別工事業で上昇の見込みですが、建設業全体ではマイナス圏を脱することができないという見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・札幌駅周辺の再開発に伴う、大型工事の引合いが強い。
- ・公共工事の減少により、減収傾向にあり、資金繰り安定を図るため、長期運転資金を導入した。
- ・建築資材の価格高止まりは依然として続いており、収益を圧迫している。
- ・住宅建設、リフォーム需要低迷により、4月以降の売上は厳しくなる見込み。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	材料価格の上昇 58.1%	材料価格の上昇 64.3%
第2位	人手不足 51.2%	人手不足 47.6%
第3位	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 利幅の縮小 20.9%	同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 21.4%

（複数回答）

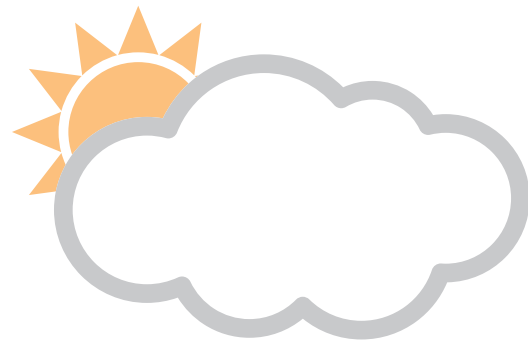
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人材を確保する 60.5%	人材を確保する 66.7%
第2位	技術力を強化する 経費を節減する 48.8%	経費を節減する 50.0%
第3位	販路を広げる 25.6%	技術力を強化する 45.2%

（複数回答）



不動産業



概況

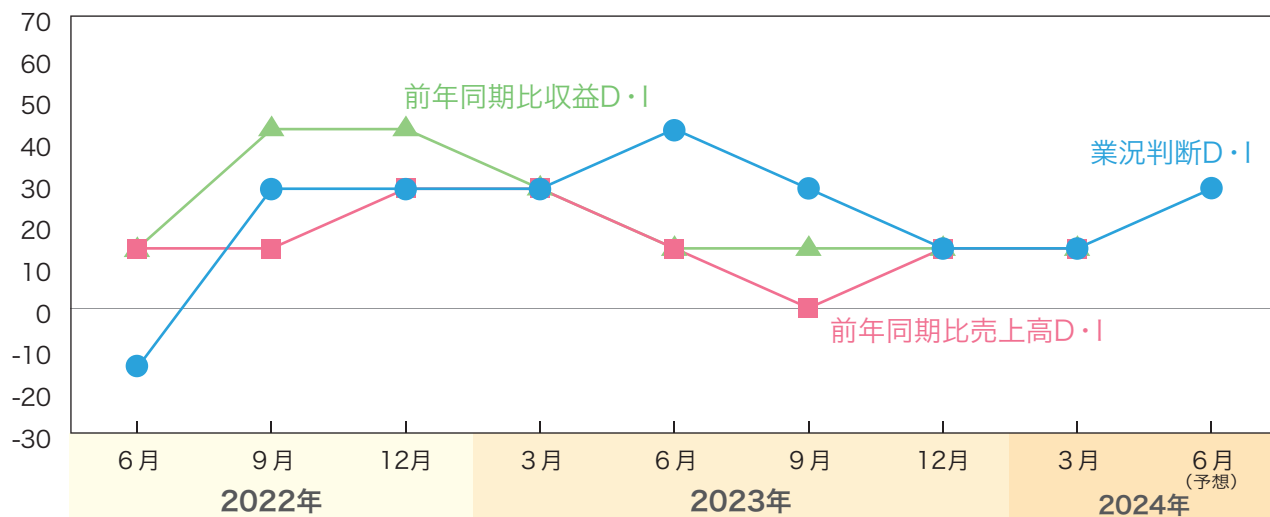
今期の業況判断指数（D・I値）は、14.3と前期と同ポイントなり、これで不動産業は7期連続でプラス圏内を維持し安定した業況でした。売上高D・I値及び収益D・I値は特に変動要因なく、前期採算水準を維持しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	28.6	14.3	14.3	28.6
売上高D・I	28.6	14.3	14.3	—
収益D・I	28.6	14.3	14.3	—

来期の見通しについて

春の異動期が到来することから、不動産代理業・仲介業において売上・収益ともに上昇を期待し、不動産業は明るい見通しとしています。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・今年度、岩見沢市内の土地を売却し、三笠市内の中古物件を購入。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商品物件の縮小 商品物件の高騰 同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 28.6%	商品物件の高騰 人件費以外の経費の増加 42.9%
第2位		商品物件の縮小 同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 28.6%
第3位		

(複数回答)

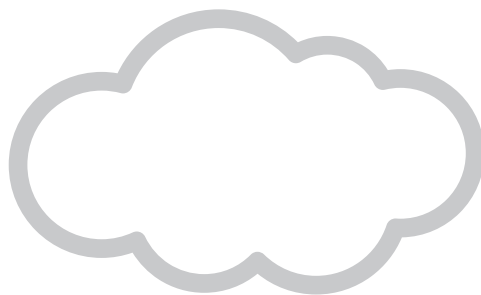
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 57.1%	経費を節減する 85.7%
第2位	経費を節減する 不動産の有効活用を図る 42.9%	販路を広げる 57.1%
第3位	新しい事業を始める 宣伝・広告を強化する 28.6%	情報力を強化する 42.9%

(複数回答)



運輸業



概況

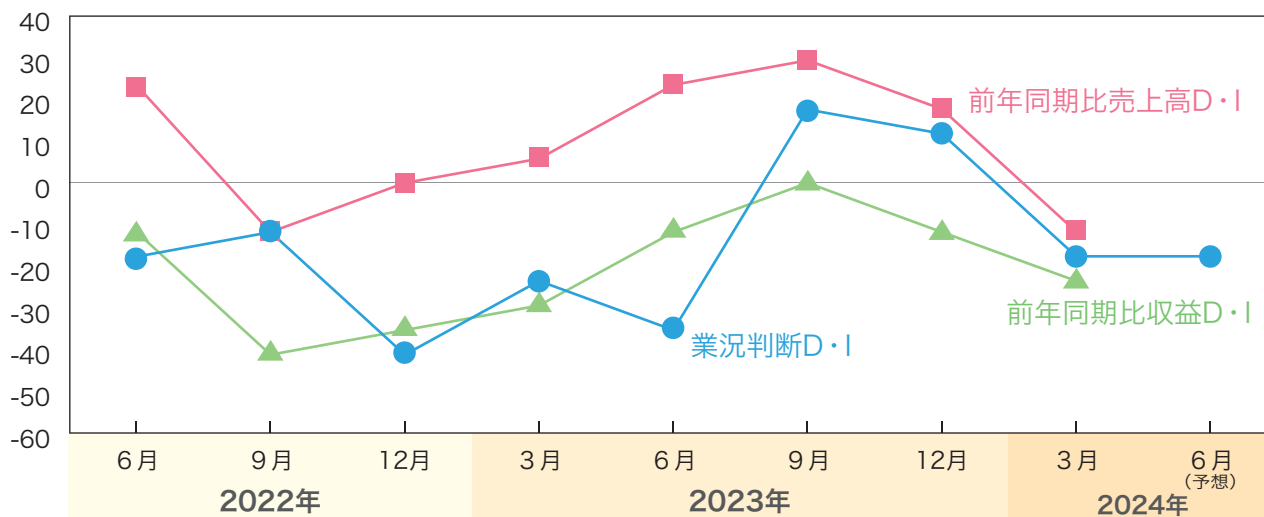
今期の業況判断指数（D・I値）は、△17.6と前期に比べ29.4ポイント下降しました。業種別ではハイヤー・タクシー等旅客自動車業及び貨物自動車運輸・通運業で悪化しています。売上高D・I値も旅客自動車業で停滞した影響を受けて29.4ポイント悪化となりました。収益D・I値では貨物自動車運輸・通運業の厳しい収益状況から11.7ポイント悪化となりました。いずれも人材不足・燃料費高騰及び価格転嫁の難しい業界構造によると思われます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△23.5	11.8	△17.6	△17.6
売上高D・I	5.8	17.7	△11.7	—
収益D・I	△29.4	△11.8	△23.5	—

来期の見通しについて

貨物自動車運輸・通運業で小幅な好転を見込みますがその他の運輸・通信業で下降を予測しており、全体では今期と横這いの業況見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・冬期は、学生のスキー学習があり、多少売上げは増加した。
- ・前年、農作物の収量減少の影響が大きい。
- ・排雪業務については、例年並みの業務量になる見通しである。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	燃料価格の上昇 88.2%	燃料価格の上昇 82.4%
第2位	人手不足 76.5%	人手不足 70.6%
第3位	売上の停滞・減少 29.4%	売上の停滞・減少 41.2%

(複数回答)

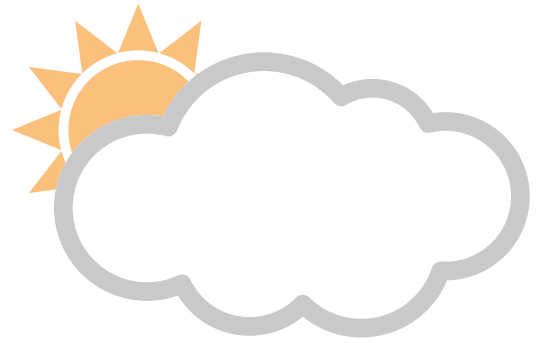
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 76.5%	経費を節減する 70.6%
第2位	販路を広げる 41.2%	販路を広げる 52.9%
第3位	労働条件を改善する 35.3%	人材を確保する 41.2%

(複数回答)



農業

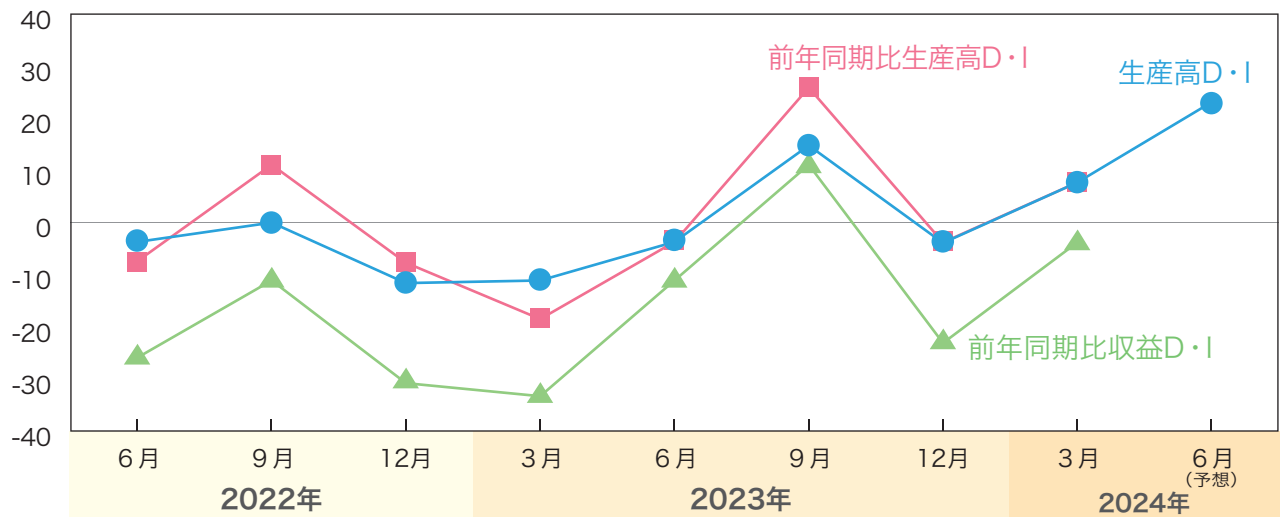


概況

生産高D・I値は、前期比11.6ポイント、収益D・I値は前期比19.3ポイント上昇しました。要因は、昨年の猛暑が生産量の落込み、品質低下などの影響を及ぼしたものの、低水準で推移した販売単価がコロナウイルスの「5類」移行とともに上昇したことによるものです。こうした中、更なる生産量の確保、品質向上のため、猛暑に負けない米の品種改良や栽培ノウハウなど、生産者は次年度に向け高温対策に努めています。Jクレジットへの取組として、水田から発生する温室効果ガスのメタンを減らす効力があるとして、「中干し」を延長する生産者が増えつつあります。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	△11.1	△3.9	7.7	23.1
前年同期比生産高D・I	△18.5	△3.8	7.7	—
収益D・I	△33.3	△23.1	△3.8	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・各商談会等へ積極的に参加。徐々に販路拡大へつながりつつある。
- ・昨年の猛暑により品質悪く、販売単価も低迷。
- ・生乳・個体の単価が回復傾向にある。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費の増加	66.7%	経費の増加	57.7%
第2位	生産資材等価格の上昇	48.1%	生産資材等価格の上昇	50.0%
第3位	人手不足 生産者価格の低迷	37.0%	人手不足 機械・設備の値上がり	38.5%

(複数回答)

特別調査

中小企業における人材戦略について

当金庫が今回実施致しました第141回中小企業景気動向調査と併せて（運輸業と農業を除く）172先について「中小企業の雇用環境について」をアンケート調査した結果です。

問1. 貴社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。1～0の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 若手が不足している | 6 営業で働く従業員が少ない |
| 2 高齢化が進んでいる | 7 経理や事務などで働く内部の従業員が少ない |
| 3 熟練者が不足している | 8 管理職（店長、現場監督など含む）が少ない |
| 4 業務上必要な資格取得者が不足している | 9 規模（売上や利益）と比較して人員が多すぎる |
| 5 生産、販売現場で働く従業員が少ない | 0 懸念していることはない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 若手が不足している	52.2%	38.5%	31.5%	41.4%	54.8%	0.0%	41.1%
2 高齢化が進んでいる	65.2%	76.9%	37.0%	44.8%	54.8%	14.3%	48.8%
3 熟練者が不足している	8.7%	7.7%	16.7%	20.7%	33.3%	0.0%	19.1%
4 業務上必要な資格取得者が不足している	0.0%	7.7%	3.7%	6.9%	11.9%	14.3%	6.5%
5 生産、販売現場で働く従業員が少ない	43.5%	0.0%	9.3%	17.2%	14.3%	0.0%	15.5%
6 営業で働く従業員が少ない	13.0%	30.8%	14.8%	6.9%	4.8%	28.6%	12.5%
7 経理や事務などで働く内部の従業員が少ない	4.3%	15.4%	3.7%	3.4%	2.4%	14.3%	4.8%
8 管理職（店長、現場監督など含む）が少ない	4.3%	0.0%	3.7%	0.0%	11.9%	0.0%	4.8%
9 規模（売上や利益）と比較して人員が多すぎる	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
0 懸念していることはない	4.3%	15.4%	25.9%	17.2%	7.1%	57.1%	17.3%

人材の状況について、「高齢化が進んでいる」（以下、「高齢化」と回答した事業先が48.8%と最も多くなりました。業種別では卸売業76.9%、製造業65.2%、建設業54.8%の順となりました。次に多い回答は、「若手が不足している」（以下、「若手不足」）の41.1%で、建設業54.8%、製造業52.2%、サービス業41.4%の順となりました。

業種別にみまると、製造業では「高齢化」、「若手不足」に次いで、業種柄「生産、販売現場で働く従業員が少ない」という回答が多く、卸売業では同じく「営業で働く従業員が少ない」、建設業では、「熟練者が不足している」という回答が多い結果となりました。

また、不動産業においては他の業種とは異なり、「懸念していることはない」が57.1%で、次に「営業で働く従業員が少ない」が28.6%という回答となりました。

問2. 今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものを、1～9の中から3つ選んでお答えください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 新卒採用の強化 | 6 非正規社員の正社員登用 |
| 2 中途採用の強化 | 7 外国人の活用 |
| 3 シニア雇用（定年・再雇用）の促進 | 8 その他（ ） |
| 4 女性活躍推進 | 9 特に対応策を検討していない |
| 5 非正規社員の活用 | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 新卒採用の強化	21.7%	15.4%	16.7%	27.6%	38.1%	14.3%	24.4%
2 中途採用の強化	56.5%	46.2%	29.6%	44.8%	59.5%	42.9%	45.2%
3 シニア雇用（定年・再雇用）の促進	4.3%	7.7%	11.1%	20.7%	16.7%	0.0%	12.5%
4 女性活躍推進	13.0%	7.7%	16.7%	0.0%	7.1%	14.3%	10.1%
5 非正規社員の活用	17.4%	15.4%	24.1%	24.1%	4.8%	0.0%	16.7%
6 非正規社員の正社員登用	8.7%	0.0%	1.9%	0.0%	2.4%	0.0%	2.4%
7 外国人の活用	4.3%	15.4%	0.0%	0.0%	11.9%	0.0%	4.8%
8 その他（ ）	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
9 特に対応策を検討していない	17.4%	38.5%	40.7%	27.6%	21.4%	57.1%	31.0%

今後の人材への対応策については、「中途採用の強化」と回答した事業所が45.2%と最も多く、次に「特に対応策を検討していない」で31.0%、「新卒採用の強化」で24.4%、「非正規社員の活用」で16.7%の順となりました。問1の回答結果も合わせて見ると、新卒採用を強化しつつ若手で、かつ即戦力となり得る中途採用の強化に努める事業所が多いものと思われま。

また、不動産業においては問1の回答結果（人材で「懸念していることはない」57.1%）と同様に人材の対応策についても「特に何も対応策を検討していない」が57.1%と最多の回答結果となりました。

問3. 貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練（OJT）以外の取組みを実施していますか。1～9の中から、あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。実施していない方は0を選択してください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間内） | 6 業界団体の研修に参加 |
| 2 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間外） | 7 外部セミナーへの参加 |
| 3 資格取得等、自己啓発費用の会社負担 | 8 外部講師の派遣依頼 |
| 4 担当業務の定期的な異動 | 9 外部出向制度の導入 |
| 5 eラーニングの導入 | 0 実施していない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総 計
1 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間内）	8.7%	15.4%	13.0%	20.7%	26.2%	14.3%	17.3%
2 社内研修会や勉強会の実施（勤務時間外）	0.0%	7.7%	3.7%	3.4%	2.4%	0.0%	3.0%
3 資格取得等、自己啓発費用の会社負担	4.3%	30.8%	9.3%	17.2%	40.5%	0.0%	19.0%
4 担当業務の定期的な異動	0.0%	0.0%	1.9%	3.4%	0.0%	0.0%	1.2%
5 eラーニングの導入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 業界団体の研修に参加	13.0%	23.1%	5.6%	10.3%	28.6%	0.0%	14.3%
7 外部セミナーへの参加	4.3%	0.0%	13.0%	6.9%	11.9%	14.3%	9.5%
8 外部講師の派遣依頼	4.3%	0.0%	1.9%	0.0%	7.1%	0.0%	3.0%
9 外部出向制度の導入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0 実施していない	73.9%	53.8%	66.7%	62.1%	33.3%	71.4%	57.7%

人材育成におけるOJT以外の取組みについては、「実施していない」が57.7%と最も多い回答率で、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」19.0%、「勤務時間内での社内研修会や勉強会の実施」17.3%の順となりました。

特に、卸売業と建設業においては「勤務時間内の社内研修会や勉強会」の実施よりも「資格取得等、自己啓発費用の負担」に取組む企業が多いことがわかります。

逆に「勤務時間外での社内研修会や勉強会の実施」が3.0%で、その他「担当業務の定期的な異動」が1.2%と少なく、「eラーニングの導入」、「外部出向制度の導入」に取組んでいる企業はありませんでした。

問4. 貴社では、人材定着などに向けて、2024年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の上げを実施（実施予定を含む。）しますか。上げる方はその賃金上げ率について、上げない方は上げなかった理由について、それぞれお答えください。

上げる		上げない						
上げる	1 0%以上2%未満	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
	2 2%以上4%未満							
	3 4%以上6%未満							
	4 6%以上							
上げない	5 賃上げに見合う価格転嫁ができていない	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
	6 同業や同地域内の他社が上げていない							
	7 今後の業績見通しが不透明							
	8 売上の低迷や伸び悩み							
	9 これまでに賃金を上げ済み							
	0 自分に従業員はいない（家族経営など）							

人材定着に向けての賃金上げの状況については、全体で4割の41.1%が上げを実施し、6割の58.9%が実施しない回答結果となりました。賃金の上げを実施する企業は上げ率2%未満が最多の25.6%、次に2%以上4%未満が13.1%となりました。業種別に見ると、建設業で54.8%の企業が賃金上げを実施し、次に卸売業が53.9%となりました。

一方、賃金を上げない理由として、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」が14.3%と最も多く、次に「同業や同地域での他社が上げていない」が10.7%となりました（「従業員はいない」11.3%を除く）。なお、既に賃上げ実施済みが全体の7.1%の企業となりました。特に製造業とサービス業においては、賃上げに見合う収益が確保されないために賃上げ未実施の企業が多いようです。

問5. 2024年4月から、建設業、自動車運搬業、医師などで残業時間の上限規制が始まります（2024年問題）。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると思込まれますか。1～5の中から選んでお答えください。また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。6～8の中から選んでお答えください。

影響		対応						
影響	1 大きく悪影響がある	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
	2 やや悪影響がある							
	3 影響はない・わからない							
	4 やや好影響がある							
	5 大きく好影響がある							
対応	6 対応を取った	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
	7 必要性は感じているが対応していない							
	8 対応を取る必要はない							

（複数回答）

2024年問題について、業務に「大きく悪影響がある」と「やや悪影響がある」を合わせると39.3%との回答結果に対し、「大きく好影響がある」と「やや好影響がある」はわずか2.4%の企業にすぎません。

業種別では、卸売業と建設業で半数以上の企業が「やや悪影響がある」の回答となりました。

「影響はない・わからない」の回答も6割に近い58.3%に上っています。これは、2024年問題（残業規制）は新年度4月から始まったばかりであり、企業にどのような影響を与えるのか、どのような問題が発生するのか、今はまだ不透明な段階と言えます。

また、2024年問題への対応についても、「対応を取った」企業は10.7%にすぎず、「必要性は感じているが対応していない」企業が38.1%となっています。なお、「対応を取る必要はない」企業が51.2%と半数を超えています。

主要経済指標

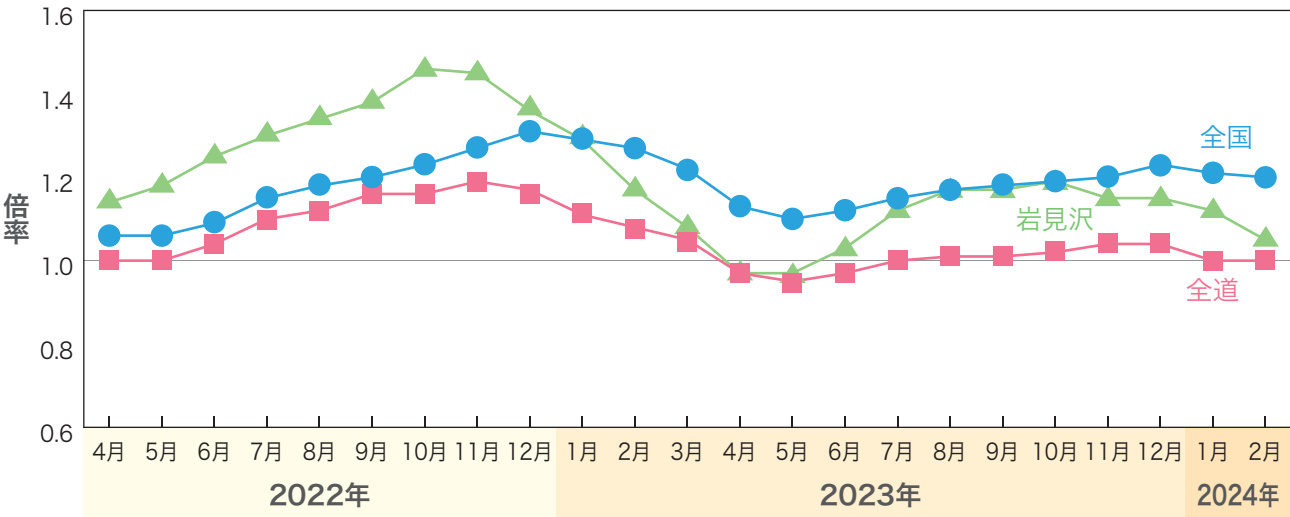
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2023年										2024年	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
岩見沢市	76,168	76,087	76,002	75,982	75,949	75,892	75,831	75,710	75,626	75,541	75,414	75,279
美 唄 市	19,333	19,278	19,242	19,197	19,175	19,143	19,099	19,079	19,038	18,985	18,930	18,883
三 笠 市	7,626	7,614	7,600	7,588	7,552	7,528	7,510	7,496	7,476	7,465	7,450	7,406
栗 山 町	11,016	11,010	10,994	10,985	10,973	10,976	10,950	10,938	10,922	10,906	10,886	10,846
南 幌 町	7,610	7,648	7,665	7,680	7,691	7,719	7,730	7,747	7,753	7,785	7,792	7,803
由 仁 町	4,738	4,736	4,723	4,717	4,711	4,712	4,688	4,676	4,667	4,662	4,642	4,642
長 沼 町	10,099	10,100	10,099	10,097	10,105	10,108	10,101	10,075	10,083	10,058	10,058	10,043
江 別 市	118,775	118,871	118,824	118,785	118,764	118,771	118,778	118,798	118,750	118,695	118,586	118,518

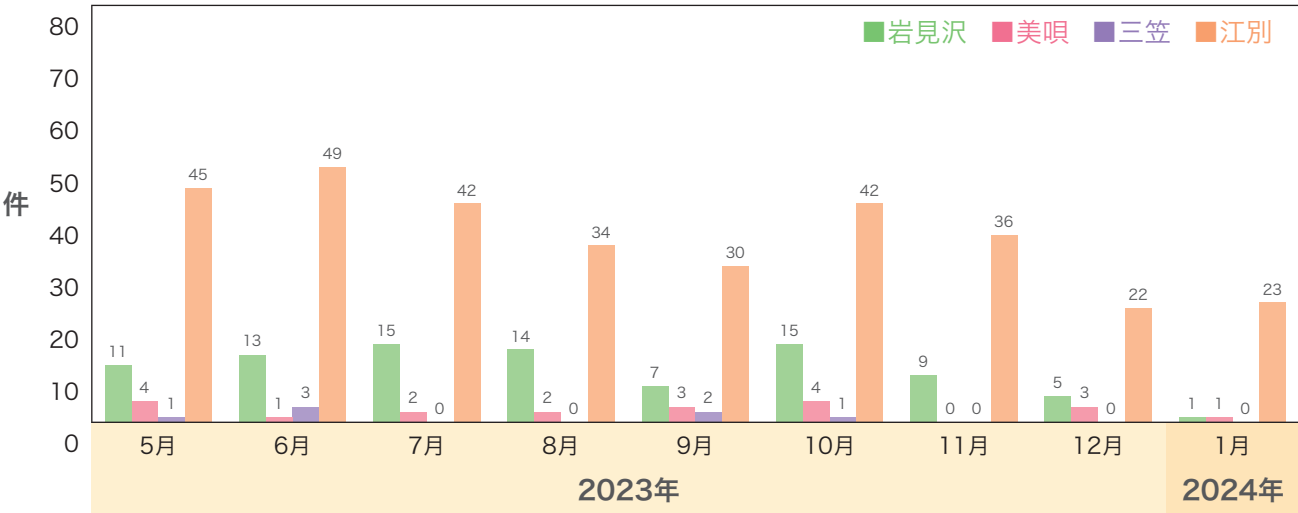
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

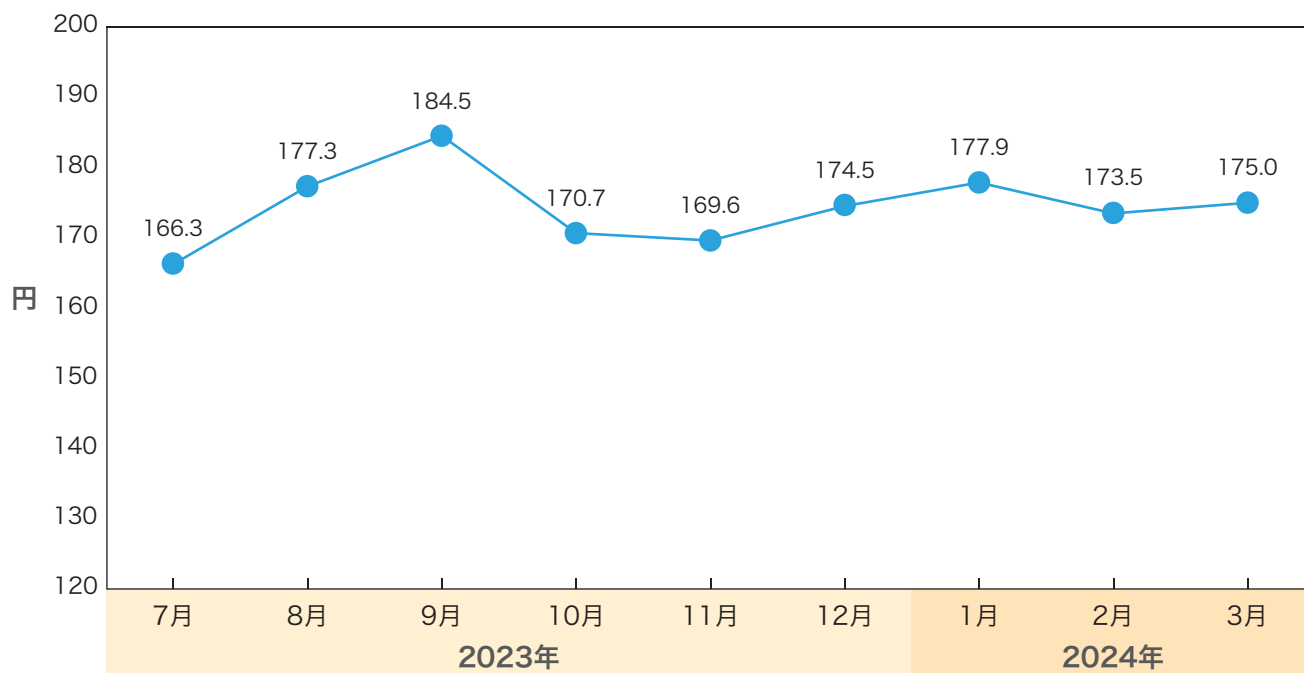
3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物



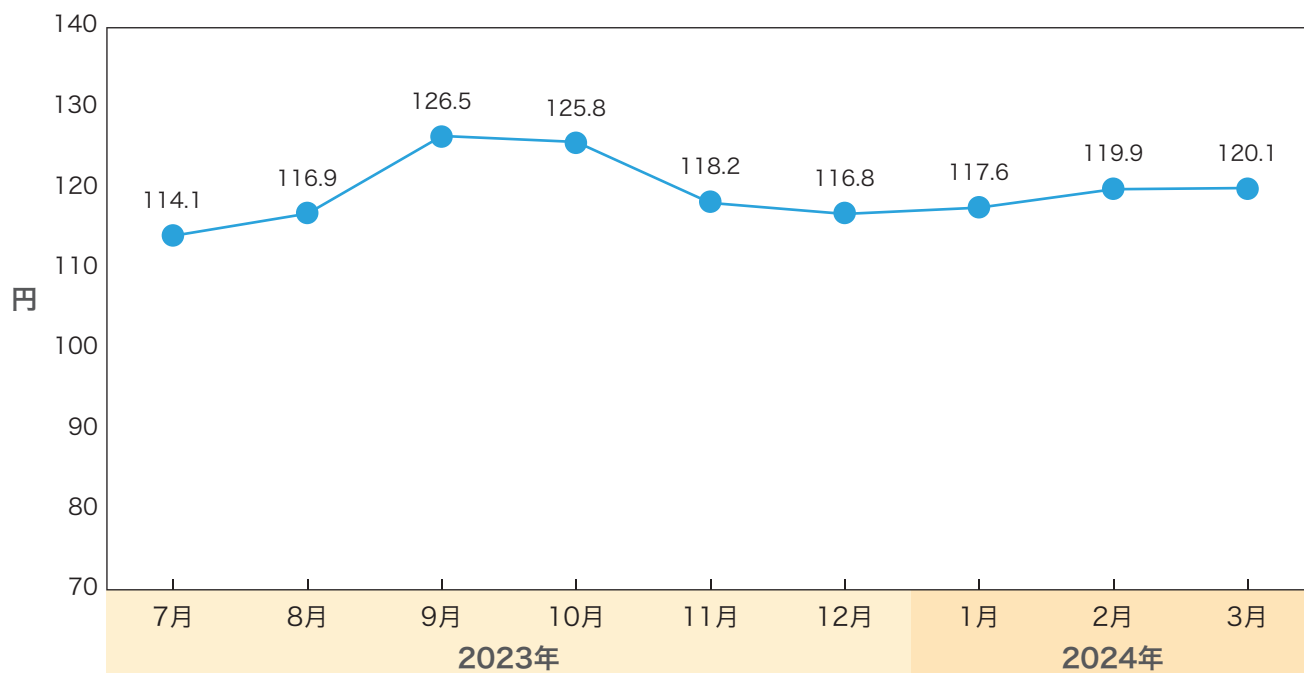
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介します。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫 地域支援部までご連絡ください。

(株) ノースプラント

取引店：幌向支店

弊社は「北海道の物産で、みんなを笑顔に」を理念に掲げ、インターネット販売を通じて、全国へ北海道産の食材にこだわった商品をお届けしています。

豊かな自然と恵まれた気候を持つ北海道は、様々な食材の宝庫です。私たちは、北海道産の食材にこだわり、加工食品や原料を開発・販売することで、北海道の食文化を広める活動を続けています。

インターネット販売では「北海道どさんこグルメ田森商店」の商標を取得し、主にAmazonや楽天市場にて、北海道産のお茶や海産物を販売。全国のお客様にご好評をいただいております。

昨年からはホームページにて、少ロットからの食品加工や商品開発の相談・見積もりも受け付けております。北海道の食材を使った商品開発をお考えの方は、ぜひお気軽にご相談ください。

インターネットでの商品販売のご相談も承っております。
北海道の恵みを全国へ届けたい、その想いを共有できる皆様からのご連絡をお待ちしております。



〒069-0382 岩見沢市幌向北2条1丁目611-26
担当者：赤柴友喜 様
Tel 0126-38-4611 Fax 0126-38-4265
Hp <https://northplant.net/>
E-mail info@northplant.net

空知信用金庫の社会的取組

空知信用金庫では、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年4月、地域支援室を立ち上げ、令和3年3月より地域支援部となりました。

地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

「空知おいしいものマルシェ in 三井アウトレットパーク札幌北広島2024」の開催 (令和6年2月17日～18日)

当金庫は地域貢献事業の一環として、同施設と連携し南空知地区および江別市の各自治体および事業者、教育機関と各地域の名産品、特産品の宣伝・販売を昨年に続き行いました。岩見沢農業高校の生徒が製作した「米粉カステラ」が両日完売するなど、イベント会場は賑わいを見せ、地域名産品、特産品のPRに繋がりました。



将来のための 代理人事前登録サービス



将来の万が一の備えとして、
お客さまとご家族のみなさまに
安心してお取引いただけるよう
「代理人事前登録サービス」を
ご用意しております。



今は自分で取引したいけど、
将来のことを考えると心配…

認知・判断力が低下したら
預金がおろせなくなるの？

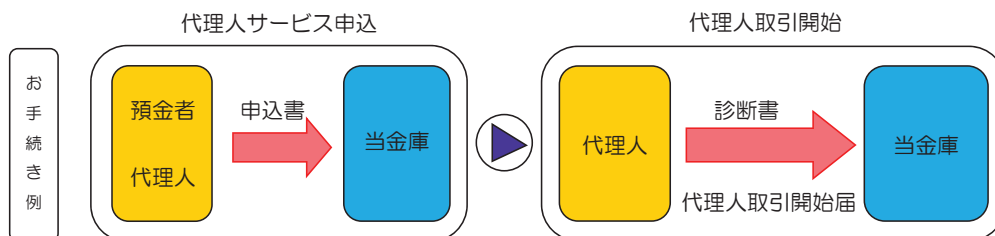
「代理人事前登録サービス」なら
万が一、認知・判断能力が低下しても
代理人がお取引できます！



「代理人事前登録サービス」とは…

認知症・判断力の低下により、預金者さまご本人によるお取引ができなくなる
場合に備え、お元気なうちに予め代理人をご指定いただくサービスです。

預金者さまご本人の認知・判断能力が低下してお取引が困難になった場合は、
診断書をご提出いただきますと、予め指定いただいた代理人の方がお取引す
ることができます。



店舗・ATMのご案内

店 舖

ATMご利用時間

●平日 ●土曜日 ●土・日・祝日

岩見沢市内店	本店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45～19:00	9:00～17:00
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00～18:00	-
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00～18:00	-
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00～18:00	-
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00～18:00	9:00～17:00
	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00～18:00	9:00～17:00
南空知管内	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00～18:00	9:00～17:00
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00～18:00	9:00～17:00
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00～18:00	9:00～17:00
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00～18:00	-
	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00～18:00	-
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 0111-378-2311	9:00～18:00	9:00～17:00
札幌市・江別市内	札幌支店 (事務所) 千歳法人オフィス	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 0111-271-3421	9:00～18:00	-
		〒066-0062	千歳市千代田町7丁目1789-3 千歳ステーションプラザ4階	TEL 0123-29-6850	-	-
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 0111-757-3435	9:00～18:00	-
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 0111-644-4422	9:00～18:00	-
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 0111-862-7766	9:00～18:00	-
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 0111-831-8555	9:00～18:00	-
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 0111-895-2111	9:00～18:00	-
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 0111-666-8111	9:00～18:00	-
	札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 0111-783-3611	9:00～18:00	-
	江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 0111-383-1011	9:00～18:00	9:00～17:00

店舗外ATMコーナー

ご利用時間

●平日 ●土・日・祝日

岩見沢市	J R 岩 見 沢 駅 (共同ATM)	岩見沢市有明町南	9:00～21:00	9:00～21:00
	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目	9:00～21:00	9:00～21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目	9:00～19:00	9:00～17:00
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00～17:00	－
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目	9:00～17:00	－
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目	9:00～19:00	9:00～18:00
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00～17:30	－
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川593番地の1	9:00～17:00	－
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目	9:00～17:00	－
三 笠 市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1	9:00～19:00	9:00～17:00



第151回地域企業景気動向調査
景況レポート 2024.4
発行 2024年4月30日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1
空知信用金庫 地域支援部
TEL 0126-22-1171
<https://www.shinkin.co.jp/sorachi/>